

2018年度(平成30年度)事業報告書

特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク

1 事業の成果

2018年度はそれぞれの事業がつながりを持ち、相乗効果を生み出せるようコーディネートを意識して取り組んだ。2年目となった地域交流の場「コミュニティステーション夢まる」では、地域の人が場や時間を共有するなかで、地域に関心を持ち、互いに支え合う意識を育めるようプログラムを実施した。例えば、健康をテーマとした連続講座や毎月の体操を開催することで、地域の人が顔なじみになる機会を持ち、特技や趣味を生かしたい人が講師となり、学び合い仲間づくりをすすめた。毎月1回開催した次世代育成事業 子ども食堂「みんなのテーブル」では、子どもやシニアにカレーを提供し、地域の誰もが来ることのできる場を開いた。それにより、新たなボランティアが誕生したり、地元の小学校との連携も深まった。

また、これまでの活動経験を生かし、地域づくり大学校事業や地域デビュー講座等、仲間づくり・まちづくりの事業に参画した。地域活動のはじめの一歩や地域との関わり方など、市民・行政・施設職員等、さまざまな人に伝える機会となった。

親と子のつどいの広場「夢ひろば」「夢たま」は計画通りに全日オープンすることができた。多様な悩みを抱えた保護者に寄り添えるよう、スタッフは感度を高くし、不安を抱える保護者・子どもに対応した。利用者同士が横につながることができるよう、場づくりにも配慮した。

取り組みから得た力や積み重ねたつながりを礎に、人と人をつなぐ仲間づくり、元気を生み出す場づくりを推進し、誰もが夢をかなえて生き生きと暮らせる社会に寄与していく。

2 事業内容

◆特定非営利活動に係る事業

1. 男女共同参画社会の中で夢を実現するためのサポートとコーディネート

(1) 地域交流拠点事業

地域の人が気軽に立ち寄れる交流スペース「夢まる」の運営。場を活用し、市民の社会参加を促進することで未病に取り組むとともに、地域に顔なじみの関係を増やすきっかけとした。

① コミュニティステーションの運営

- ・内 容 スポーツセンターや商店街等と連携し健康体操や連続講座を行い、地域の人が集い、顔見知りの関係になる場をコーディネートした。
- ・時 期 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 夢まる
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 市民 500人
- ・支 出 額 1,142,297円

(2) 中間支援組織として取り組む事業

団体のもつコーディネート力やネットワーク・情報を活かし、地域の諸団体と連携してまちづくりに関わる事業に取り組んだ。

① 地域づくり事業（地域元気づくり連合会）

- ・内 容 支えあえる地域をめざし、地域の人や学校・商店街等と一緒に開催する地域交流イベントをコーディネートした。
- ・時 期 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 区内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 市民 650人
- ・支 出 額 136,627円

② 次世代育成事業 子ども食堂「みんなのテーブル」

- ・内 容 家庭の事情等で、十分に食事をとることができなかつたり、1人で食事をする子どもたちにカレーライスを提供した。誰でも参加でき一緒に食べることで、地域の大人が子どもたちを見守り、多世代が交流する機会となった。毎月1回（12回実施）
- ・時 期 平成2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 夢まる
- ・従事者人員 7人
- ・受益対象者 地域の子ども 641名・おとな 333名 計 974名
- ・支 出 額 251,357円

③ 担い手づくり事業

- ・内 容 地域活動の担い手の発掘・育成を目的に、行政や自治会等と連携した講座をコーディネートした。
- ・時 期 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 市内
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 市民、行政・施設職員 80名
- ・支 出 額 808,898円

(3) 事務局事業

プロジェクトがスムーズに目的に向かって機能するよう、連絡調整や情報の取りまとめ等のマネジメントの役割を担った。

① 磯子区商店街連合会事務局

- ・内 容 区内15商店街・行政との連絡調整および区商連イベントのサポート
- ・時 期 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 市内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 市民 3000人
- ・支 出 額 214,272円

② 磯子区 NPO 連絡会事務局

- ・内 容 区内 NPO が連携し市民活動をより盛り上げていく連絡会の事務局

- ・時 期 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 市内
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 市民 1000人
- ・支 出 額 1,600円

2. 学びあいとまちづくりに関する講座・研修等の企画運営

(1) 仲間づくり講座の企画とコーディネート

①講座ファシリテート

- ・内 容 行政やNPO等から依頼されたテーマに対して、仲間づくりや地域づくりの専門性を活かし講師やファシリテーターとして事業に参画した。
- ・時 期 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 市内
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 市民、行政・施設職員 900人
- ・支 出 額 226,890円

(2) 若者応援

①若者応援活動

- ・内 容 地域交流イベントへのボランティア体験をサポートするとともに、これまでの当事業参加者に対して、メール等での相談を行った。
- ・時 期 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 夢まる
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 市民 10名
- ・支 出 額 4,000円

3. 学びあいとまちづくりに関する調査研究、情報収集及び提供

(1) 地域連携事業

さまざまな地域課題に取り組む組織・団体と連携し、地域課題に対する理解を深め、地域の活性化や団体の事業推進に役立てた。

① 地域ネットワーク活動

- ・内 容 地域課題に取り組む組織・団体と連携し、課題に対する情報共有を深め、解決に取り組んだ。主な連携先：区社協ボランティア部会、区子育て支援連絡会、はっちネット、市夢ファンクラブ部会等
- ・時 期 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 市内
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 市民、NPO関係者、専門家、行政職員 300人
- ・支 出 額 65,886円

② 初春学びの会

- ・内 容 学びあう仲間たちと新年を祝い、交流を深め、それぞれの活動促進と豊かなまちづくりへの連携の機会をもった。
- ・時 期 2019年1月9日
- ・場 所 夢まる
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 市民、NPO関係者、行政職員 40人
- ・支 出 額 20,035円

(2) 啓発事業

だれもがいきいきと自分らしく暮らせる地域をめざし、外見だけではわかりにくい「発達障がい」をテーマに、「地域で取組む発達障がい理解啓発プロジェクト いそごキャラバン」の活動を通し、地域にわかりやすい福祉啓発活動を実施した。

① サポーター養成講座・虹色カフェ

- ・内 容 「サポーター養成講座」を2期（各3回）開催。これまでの受講者を対象にフォローアップ講座を3月に実施した。また、子どもの発達が気になる保護者のおしゃべり会を月1回開催した。
- ・時 期 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 区内 虹色カフェは夢ひろば
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 市民、施設職員 160人
- ・支 出 額 662,901円

② キャラバン事業

- ・内 容 地域から要望の高い「児童に向けた啓発」出前講座の内容を構築。人権教育「感覚の違い」をテーマとした寸劇等をイベントで発信した。
- ・時 期 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 区内
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 市民 400人
- ・支 出 額 373,362円

③ 出前講座

- ・内 容 発達障がい理解啓発のため地域に出向き情報を発信した。
- ・時 期 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 市内
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 市民 50名
- ・支 出 額 1,564円

4. 学びあいとまちづくりに関する会報及び出版物作成

(1) 地域活動に関する情報発信

- ・内 容 ホームページやブログの更新
- ・期 間 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 区内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 市民
- ・支 出 額 12,000円

5. 学びあいとまちづくりに関する講師の育成とコーディネート

(1) コーディネーター交流会の開催

- ・内 容 地域コミュニティづくりに携わるコーディネーターたちが学びあう交流会を開催し、参加者の交流と情報交換、スキルアップの機会とした
- ・期 間 2018年4月1日～9月30日
- ・場 所 夢ひろば
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 地域の人、行政・施設職員 20人
- ・支 出 額 9,508円

6. 地域の中で子育てをサポートする事業

(1) 親と子のつどいの広場「夢ひろば」の運営

- ・内 容 【開催日数172日、利用者数4,207人、一時預かり123人】
横浜市補助事業である 親と子のつどいの広場「夢ひろば」の運営を通し、子育て中の親子が楽しく交流できる居場所をつくり、地域全体で子育てを応援する環境づくりの推進に取り組んだ。
また、多様なニーズに応じ、一時預かりを実施した。
- ・期 間 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 夢ひろば
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 子育て中の親子、地域の人
- ・支 出 額 7,067,492円

(2) 親と子のつどいの広場「夢たま」の運営

- ・内 容 【開催日数172日、利用者数2,551人】
子育て中の親子が安心して交流できるスペース「夢たま」の運営。
ひろばの機能である、交流・相談・情報・講習会等に取り組みながら、地域や商店街と連携し、子育てを支える環境づくりを推進した。
- ・期 間 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 夢たま
- ・従事者人員 8人
- ・受益対象者 子育て中の親子、地域の人
- ・支 出 額 5,356,586円

以上